

Example Speech

きょうは オーストラリアの^{きょういく もんだい}教育の問題について、^{はな おも}お話したいと思います。

オーストラリアの^{きょういく なか}教育の中で、^{いちばんおお もんだい}一番大きな問題は、^{がいこくご べんきょう じゅうし}外国語の勉強を重視しないことです。^{たと}例えば、^{おや こ}ある親は、^{がいこくご べんきょう}子どもに「外国語の勉強はしなくてもいい。もっと^{しょうらい しごと やく た}将来の仕事に役に立つことを^{べんきょう}勉強しなさい。」と言います。また、^{がいこくごきょういく}外国語教育についての^{がっこう よさん すく}学校の予算が^{きょうし かす おお}少ないし、^{がっこう}教師の数も^{がいこくご}多くありません。そのため、^{がっこう}学校で^{がいこくご おし}外国語を^{じかん}教える^へ時間が^へどんどん減っています。

では、^{もんだい お}どうしてこのような^{わたくし}問題が^{げんいん ひと}起こるのでしょうか。私は、^{げんいん ひと}原因の一つは、オーストラリアの^{しゃかい}社会と^{れきし おち}その歴史だと思っています。オーストラリアには「アボリジニ」という^{げんじゅうみん}原住民と、^{くに き ひと}いろいろな国から^{いま}来た人がいますが、^{いま}今、アボリジニのことは^{はな ひと すく}話せる人は^{むかし がっこう}少ないです。なぜなら、^{むかし がっこう}昔から^{つか}学校で^{きんし}それを使うのが^{きんし}禁止されていたからです。^{そのため}そのため、^{ひとびと えいご はな}人々は^{はな}英語だけ^{はな}話すようになりました。また、オーストラリア人は^{じん せかいじゅう りょこう す}世界中を^{えいご つう かん}旅行するのが^{えいご}好きですが、^{えいご}どこでも^{えいご}だいたい^{えいご}英語が^{かん}通じると^{かん}感じることが^{おお}多いです。^{その結果}その結果、^{けっか ひとびと}人々は、^{がいこくご べんきょう}外国語の^{たいせつ}勉強は^{おも}あまり^{おも}大切ではないと思っようになったのです。

^{もんだい}この問題について、^{わたくし おも}私はこう^{じん せかいじゅう す}思います。オーストラリア人は^{じん せかいじゅう す}世界中に^{じん せかいじゅう す}住んで^{じん せかいじゅう す}います。それに、オーストラリアは^{わか くに}若い国です。ですから、^{せかい}世界の^{せかい}ことについて^{せかい}もっと

し
と知らなければなりません。しょうらいのため、がくせい がいこく
おし
学生たちに外国のことを教えるのはと
たいせつ
でも大切です。もんだい かいけつ
この問題を解決するためには、まず、おや えいご
おし じゅうぶん
親が「英語ができれば十分だ」
かんが かた か
という考え方を^か変えるべきではないでしょうか。そして、がっこう
がっこう
学校のカリキュラムで
れきし がいこくご がいこく ぶんか おし
も、もっとオーストラリアの歴史と、外国語と外国の文化を教えなければならない
おも
と思います。

きょうは、オーストラリアのきょういくもんだい
きょういくもんだい
教育問題について はなし
お話をしました。しつもん いけん
ご質問、ご意見
ねが
などありましたら、お願い いたします。